



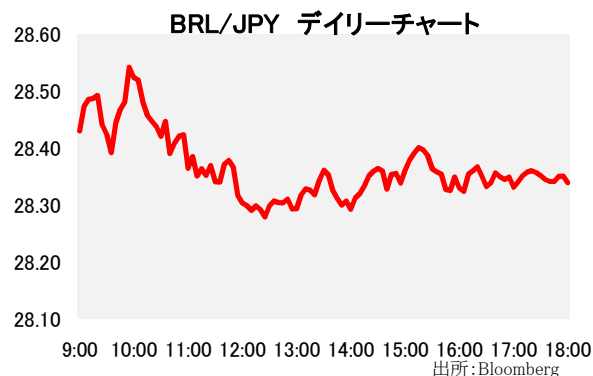
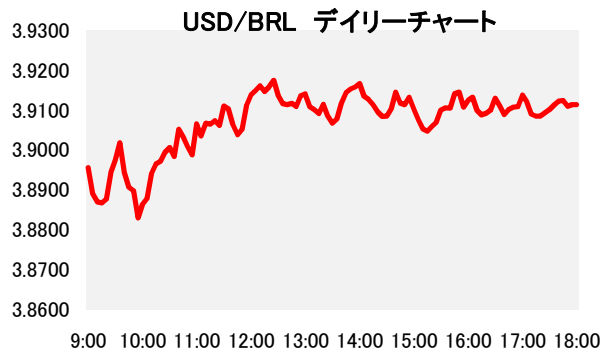
## 1. マーケット・レート

			6月26日	6月27日	6月28日	6月29日	7月2日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.8020	3.8610	3.8620	3.8770	3.9110	+0.0340
	BRL/JPY	Spot	28.950	28.560	28.61	28.55	28.34	-0.21
	EUR/USD	Spot	1.1646	1.1554	1.1568	1.1685	1.1639	-0.0046
	USD/JPY	Spot	110.06	110.26	110.50	110.70	110.86	+0.16
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.909	6.958	6.833	6.835	6.785	-0.050
	Future	1Year(p.a.)	7.765	7.790	7.692	7.595	7.595	-0.000
	On-shore	6MTH(p.a.)	4.043	3.857	3.805	3.688	3.790	+0.102
	USD	1Year(p.a.)	4.725	4.561	4.432	4.380	4.471	+0.091
株式	Bovespa指数		71,404.63	70,609.00	71,766.52	72,762.51	72,839.74	77.23
CDS	CDS Brazil 5y		262.91	267.83	267.31	270.09	274.51	+4.42
商品	CRB指数		197.244	198.947	198.891	200.385	197.500	-2.89

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	1.22%	1.19%	1.17%
マーケット・ブラジルPMI製造業	--	49.8	50.7
(米)マーケット米国製造業PMI	54.6	55.4	54.6
(米)ISM製造業景況指数	58.5	60.2	58.7



## 3. 要人コメント

トランプ米大統領	公正な貿易取引に向けた合意が近い
----------	------------------

## 4. トピックス

- 本日のレアルは日中高値3.8760で寄り付いた。米中貿易摩擦を背景としたリスクオフムードが継続する中でレアルは下落。正午過ぎに日中安値3.9190を付けた。その後は材料に乏しく3.91を中心とした水準で揉み合う展開が続き、結局3.9110でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.55%で据え置かれ、2019年は2.60%から2.50%へ下方修正された。インフレ率予想は2018年が4.00%から4.03%へ上方修正され、2019年は4.10%で据え置かれた。年末の為替レートは2018年が3.65から3.70へレアル安方向に修正され、2019年は3.60で据え置かれた。
- 本日、伯中銀は既存ポジション7億ドルのロールオーバー以外に追加のドル売りスワップ入札を実施しなかった。先月7日にゴールドフィン伯中銀総裁が記者会見を実施し、翌週にかけて追加で200億ドルのドル売り介入を行うと発表した際の水準である3.9台までレアルは下落したが、介入は行われなかった。心理的節目である4.0に近づく相場展開もあり得る中、当局の対応に注目が集まる。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。